

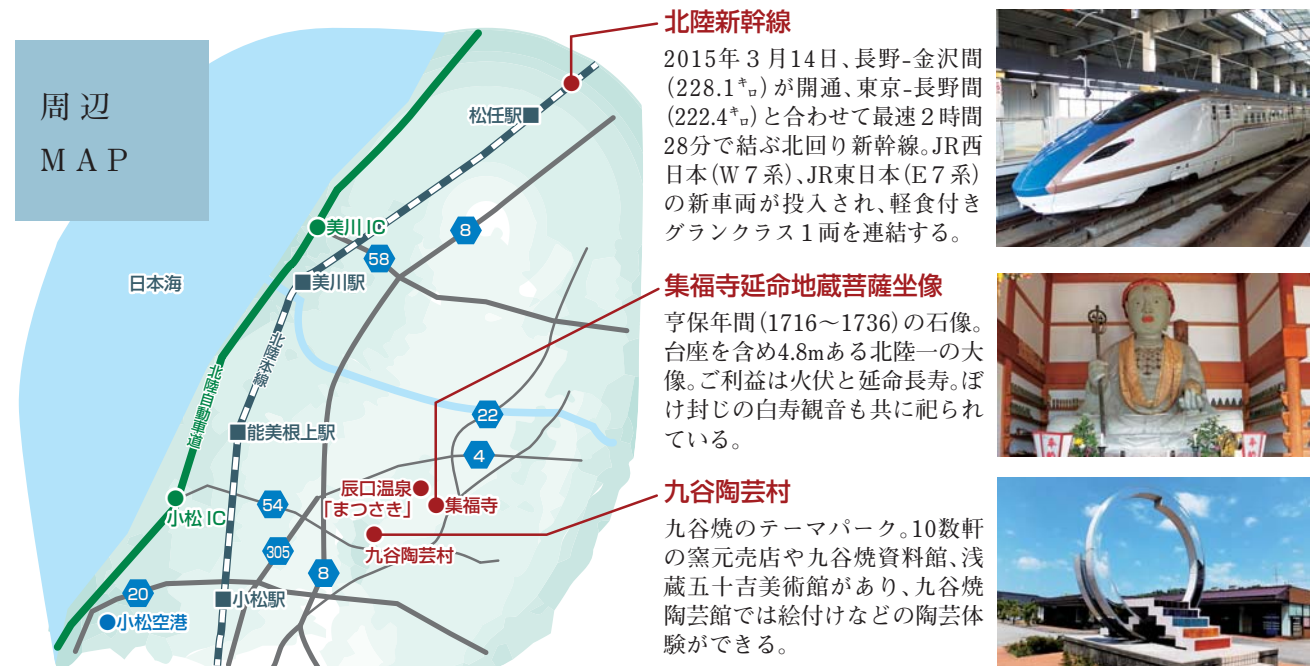
## 宿の見どころ

1. 笑顔を絶やさない松崎富志永さん
2. 窓の外には緑と水が
3. 季節の加賀の食材が食卓を彩る
4. 女将手造りの栗蒸し羊羹、限定品でお土産にも
5. 屋上露天風呂「木犀」サウナつき
6. 八つ橋のかかる回遊庭園松泉湖



## 旅の楽しみ 石川県・能美市

3月に北陸新幹線が開通した。東京駅から金沢駅まで最速2時間28分。もう日帰り圏といってよい。兼六園や21世紀美術館、寺町、ひがし茶屋街、食の殿堂・近江町市場など、加賀百万石の城下町は見どころも豊富。周辺には伝統の名温泉地も多いが、中でも金沢の奥座敷として親しまれてきたのが辰口温泉。緑あふれる丘陵地に湧く文豪・泉鏡花ゆかりの温泉で、能美市営の立寄り湯や足湯も整備されている。九谷焼の窯元も10数軒がアーケード街を作る九谷陶芸村には美術館や資料館もあり、華麗な九谷焼の知識を学びながらショッピングや絵付け体験なども楽しめる。宿の送迎車が結ぶ松任駅では、中川一政の美術館で名作を楽しむのも一興。小さな美術館だが内容充実、静かなひと時を楽しめる。もう一つの送迎駅・小松駅の東口には、昨春「サイエンスヒルズこまつ」が開館。直径16m、日本最大級のドーム型3Dシアター(600円)があり、立体視映像が楽しめる。金沢からちょっと足を伸ばして温泉と加賀料理を楽しむオトナの旅。



**宿基本情報**  
●金沢辰口温泉「まつさき」  
TEL:0761-51-3111 所在地:石川県能美市辰口町3-1  
基本宿泊料金:2人泊は1人につき1泊2食2万1750円～、1人泊は1泊2食2万7150円～ バリアフリー客室3室あり  
泉質:含硫黄-ナトリウム-硫酸塩・塩化物泉

※季節によりプラン・価格が随時変化します。詳細は直接お宿にお問い合わせください。

**交通**  
北陸新幹線金沢駅からJR北陸本線乗換え松任駅下車、送迎車(要予約)15分、または小松駅下車、送迎車(要予約)で20分。なお金沢駅東口から辰口温泉までの路線バスで所要約45分。小松空港からは送迎車(要予約)25分車は北陸自動車道 美川ICから20分、小松ICから15分  
※お問い合わせ 能美市観光交流課 TEL:0761-58-2211

## 宿ものがたり

石川県・能美市  
「健康づくりの宿を目指して」  
金沢辰口温泉 まつさき



新館屋上の露天風呂「玉竜」、垣根からのぞくとほかに白山の頂きも展望できる

夜来の雨も上がって、緑がひときわ清々しい。この宿はどこに居ても水と緑が身近に感じられる。池の八つ橋脇では鷺が水面を見つめて動かない。睡蓮の葉かげに魚の影が走る。

「うちの庭に棲んでいるんです」とスタッフがささやく。五千坪の敷地に二千坪の庭。川水を引き込んだ池は、夏の温気をも流してくれる。

「柔らかで質の良い自家源泉に恵まれておりますので、健康づくりのできる温泉保養の宿として守っていきたいと思っております」と、女将の松崎富志永さん。

創業は天保7年(1836)。来年で180年を迎える老舗旅館。平成5年に本館を、平成12年に新館を完成させたが、庭には桃山時代の石組が残るというから実際にはもっと古い宿なのだろう。地元でも知られた料理旅館で、新館には京懐石本館には加賀懐石の板長を置き、それぞれ四季の食材を駆使した献立を工夫している。本館の夏料理には、輪島出身の板長が金時草や五郎島金時芋などの加賀野菜、赤イカの素麺、時にはどじょうの蒲焼といった珍味を登場させる日もあるそうで、食の楽しみも大きい。そのためか二泊三泊するシニアの姿が多く、この宿をベースに東尋坊や金沢周遊を楽しんでいる。女将手造りのお着き菓子・栗蒸し羊羹も忘れ難い宿の味だった。



旅行作家  
竹村 節子  
たけむら せつこ

東京都出身。温泉雑誌、ガイドブックの編集者を経て旅行作家へ。2005年、第24回温泉関係労者として環境大臣表彰を受ける。『旅行作家旅の眼』編集長、一般財団法人自然公園財団理事、一般財団法人休暇村協会評議委員。著書多数、近著に「わたしの温泉観光論」(2014年9月刊)がある。